

アクセラレーションプログラム 募集要項

【事業内容】

東京都は、自治体・企業・支援機関と連携し、社会課題解決を目指す起業家を支援する「TOKYO Co-cial IMPACT（以下、本事業）」を実施しています。

アクセラレーションプログラムでは、すでに法人を設立し、ユーザーへの提供を開始しているプロダクトやサービスをさらに成長・拡大させていく段階にある企業を対象に、社会課題・解決の手法の検証、インパクト評価・マネジメント、多様なファイナンスの検討などの実践的なプロセスを専門家が伴走し、社会的インパクトと経済的リターンを両立する事業の成長を目指します。

事業ステージに応じて、「インパクトデザインコース」と「インパクトスケールコース」の2つのコースを設けています。インパクトデザインコースは、すでにユーザーに向けてプロダクトやサービスを提供しており、社会的インパクトと経済的リターンの両立に取り組む中で、ビジネスモデルの構築に課題を感じている企業に向けたコースです。インパクトスケールコースは、事業化初期フェーズを乗り越え、インパクトを活用したスケールアップを志向する中で課題を感じている企業に向けたコースです。

【対象企業】

以下の全てに該当する企業（詳細は次頁を参照）

- ・社会的インパクトと経済的リターンの両立を意識した事業を推進している、プロダクト・サービスを提供していること
- ・法人の所在等について以下のいずれかに当てはまること
 - ・東京都で株式会社を設立していること
 - ・東京都で株式会社以外の法人を設立済みであるが、株式会社への組織変更の予定があること
 - ・別の道府県で株式会社を設立済みであるが、東京都への事業所の設立（届出）の予定があること
 - ・別の道府県で株式会社以外の法人を設立済みであるが、株式会社への組織変更及び東京都への事業所の設立（届出）の予定があること
- ・成果報告会や参加必須のプログラムに出席できること

【応募期間】

応募開始**2025年8月1日（金）****応募締切****2025年9月26日（金）**

【応募方法】

エントリーフォームより、必要事項を記入の上、ご応募ください。

<https://forms.gle/wUSADnWrHfrC4Pqu6>

※上記エントリーフォームから応募できない場合は、7.問い合わせ先にご連絡ください。

1.対象企業要件（1/2）

【コース共通】

以下の1～7のすべてに該当する企業を募集します。

1. 社会的インパクトと経済的リターンの両立を意識した事業を推進している、プロダクト・サービスを提供していること
 2. 法人の所在等について以下のいずれかに当てはまること
 - ・ 東京都で株式会社を設立していること
 - ・ 東京都で株式会社以外の法人を設立済みであるが、株式会社への組織変更の予定があること
 - ・ 別の道府県で株式会社を設立済みであるが、東京都への事業所の設立（届出）の予定があること
 - ・ 別の道府県で株式会社以外の法人を設立済みであるが、株式会社への組織変更及び東京都への事業所の設立（届出）の予定があること
 3. 成果報告会や参加必須のプログラムに出席できる方（オフライン・オンライン）
 4. 応募者及び応募企業が、法令等もしくは公序良俗に反していない、又はその恐れがないこと
 5. 応募者及び応募企業が、「東京都暴力団排除条例」に規定する暴力団関係者又は「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律」第2条に規定する風俗関連業、ギャンブル業、賭博等、支援の対象として社会通念上適切でないと判断される業態を営むものではないこと
 6. 応募者及び応募企業が、過去に国・都道府県・区市町村・公社等が実施する事業に関して、不正等の事故を起こしていないこと
 7. 応募者及び応募企業が、連鎖販売取引、ネガティブ・オプション（送り付け商法）、催眠商法、靈感商法など公的資金による支援先として適切でないと判断する業態を営むものではないこと
- ※ 応募する株式会社は、インパクトスタートアップやゼブラ企業などの社会性と経済性を両立する企業を想定しています。
- ※ 東京都の他の支援事業に採択されていても、出席要件などの履行が可能であれば応募可能です。
- ※ TOKYO Co-cial IMPACTエントリープログラムの参加は要件とはしませんが、アーカイブの受講をお勧めいたします。

1.対象企業要件（2/2）

【インパクトデザインコース】

以下の1～3のすべてに該当する企業を募集します。

1. 事業を通じた社会課題解決、社会的インパクトの創出を目指していること
2. 事業の状況がアイデアレベルではなく、事業コンセプトは構築できている（検証済みである）こと
3. マネタイズ方法を含むビジネスモデルの確立に取り組んでおり、PMF（※）の達成を目指していること

【インパクトスケールコース】

以下の1～3のすべてに該当する企業を募集します。

1. 社会課題を解決するという意思を持ち、社会的インパクト創出のための事業を主たる事業を既に行っていること
2. 既にプロダクトやサービスを複数の顧客・ユーザーへ提供を通じてビジネスモデルが確立されており、顧客・ユーザーとの対話を通じた価値検証等を進めていること
3. PMF（※）を達成し、販売拡大に向けた事業成長・資金調達を目指しているフェーズであること

※自社のプロダクト・サービスが特定の顧客セグメントに受け入れられている、支持されている状態。具体的には、プロダクト・サービスへ顧客が殺到している、解約や離脱が少なく粘着性をもってリピートや継続購入されているなど。

【本プログラムの対象企業について】※コース共通

以下の2つを満たす企業を想定しています。

- 社会的インパクトの創出（社会や環境の改善に貢献すること）が事業の主要目的の一つである
- 社会的インパクトを意図的に創出しようとする意思や計画が存在する

つまり、「市場のニーズに応える形で事業活動を行っていたところ、結果的に社会にポジティブな影響があった」など社会インパクトは副次的・偶発的に創出されるもので、事業の主要目的に組み込まれていない場合は、本プログラムの対象企業として想定しておりません。

2. 想定対象企業（ペルソナ）

【インパクトデザインコース】

以下のいずれかに該当する企業を想定します。

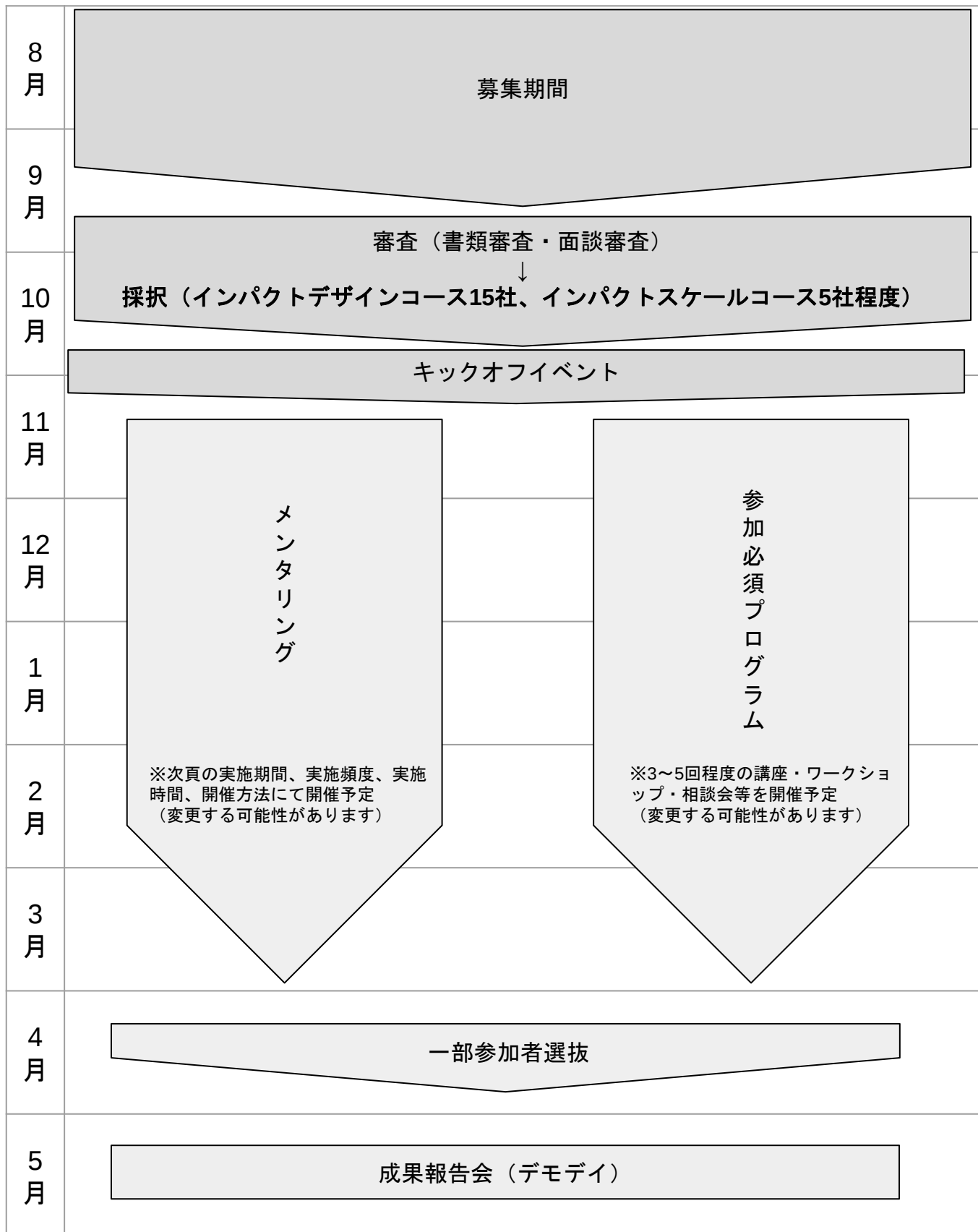
- プロダクト・サービスを提供しているが、持続可能な形でのマネタイズの方法に悩んでいる企業
- 事業を通じて社会課題解決や社会的インパクトの創出を行いたい、現状の事業内容が適切なアプローチか自信がない、説明できない企業
- 初期顧客の獲得が十分にできていない企業 など

【インパクトスケールコース】

以下のいずれかに該当する企業を想定します。

- 取り組む社会課題解決や創出するソーシャルインパクトの評価・管理に悩んでいる企業、社会的インパクトの説明責任や説得力に課題を感じている企業
- 資金調達、企業連携、採用等にあって取り組みの意義/自社の魅力をどう伝えるかに悩んでいる企業
- 社会的インパクトを起点としたさらなる成長に向けた事業戦略をどう描くかに悩んでいる企業 など

3.アクセラレーションプログラムの全体像



4.アクセラレーションプログラム内容

「社会的インパクト」と「経済的リターン」の両立を目指す企業が抱える特有の課題に対応し、成長するためのアクセラレーションプログラムを実施します。具体的には、採択企業の状況に応じて、社会課題・解決の手法の検証、インパクト評価・マネジメント、多様なファイナンスの検討等を支援します。

＜プログラム実施内容（予定）＞

- ・実施期間：2025年11月～2026年3月
- ・メンタリング実施頻度：1回程度／週 全20回程度
- ・メンタリング実施時間：30分～1時間／回
- ・開催方法：オフラインまたはオンライン

＜支援内容詳細＞

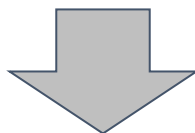
コース	カテゴリー	支援内容
インパクト デザインコース	ToP/ToCを用いた 事業検証/事業計画 ブラッシュアップ	社会課題の要因やそれにどのように働きかけて変化を起こすかを表す図であるTheory of Problem (ToP) /Theory of Change (ToC) を用いて創出・最大化を目指す社会的インパクトを特定し、収益性とインパクトを両立する事業計画へブラッシュアップします。
インパクト スケールコース	インパクト評価 (可視化) / マネジメント設計 (IMM)	自社が創出する社会的インパクトを可視化するための評価・表現の手法を学んだ上で、より大きな社会的インパクトを創出するためのマネジメント方法・体制を確立します。
	IMMの活用/ 資金調達・販路開拓	資金調達やマーケティング・営業等の販路開拓においてIMMを適切に活用し、事業のトラクション獲得を目指します。
コース共通	連携先のマッチング	ステークホルダーの巻き込み・事業拡大に向けて、実際に投資家・販路先・他スタートアップ・行政・大企業等の連携候補へマッチングします。

5.アクセラレーションプログラムの審査

アクセラレーションプログラムへの参加にあたっては、書類審査、面談審査の二段階の審査を実施します。2025年8月1日（金）から2025年9月26日（金）に応募を受け付けます。

【一次審査】

申し込みフォームに必要事項（基本情報・事業資料等）を記載・提出していただきます。その後、10月8日（水）頃を目途に、一次審査結果と一次審査を通過した企業には二次審査日程を通知します。

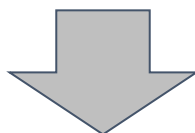


【二次審査（面談審査）】

一次審査を通過した企業は、社会課題解決への思い、今までの実施された活動、現在の状況、検討又は実施している事業内容、今後の展望、プログラムへの期待値等についてお話しいただきます。

※以下の面談候補日より20～30分枠のオンライン面談日程を通知させていただきます。

- 10月13日（月）～10月16日（木）
（変更になる場合がありますので予めご了承ください）



【審査通過社数（アクセラレーションプログラム参加社数）】

インパクトデザインコース15社、インパクトスケールコース5社程度

【 審 査 項 目 】

以下の審査項目に基づき、総合的に審査し、本プログラムの支援内容との親和性を測ります。

【コース共通】

- (1) 経済的リターン・事業拡大への意欲
- (2) インパクト（社会課題解決）への志向性
- (3) 取り組む社会課題・事業ドメインへの専門性
- (4) 経営者・チームの事業推進能力

【インパクトデザインコース】

- (1) 事業フェーズ（事業開発・販売等の状況）
- (2) 今後の事業展開への展望
- (3) 事業を通じて生み出す社会的インパクトの検証状況

【インパクトスケールコース】

- (1) 事業フェーズ（売上等の実績・調達状況）
- (2) 今後の事業展開への展望
- (3) 社会的インパクトへの取り組み状況
- (4) 社会的インパクトの可視化・評価に関する取り組み状況

6.留意事項

1. 応募に当たってご提供いただく個人情報を含む応募情報は、東京都及び運営事務局にて、アクセラレーションプログラムに必要な範囲にて利用、共有されます。また、応募情報を事前の承認なく、都及び運営事務局等以外の第三者に提供することはありません。
2. アクセラレーションプログラム採択者の審査及び選考は、運営事務局が行います。
3. 審査経過、審査結果に関する問い合わせには応じられません。
4. 以下の場合、審査対象外とさせていただきますので、ご了承ください。
 - a. 応募内容に不備がある場合
 - b. 応募資格を満たしていない場合
 - c. 応募者が、応募に際し虚偽の情報を記載し、そのほか東京都及び運営事務局に対して虚偽の申告を行った場合
 - d. 面談審査において、遅刻や通信環境の不具合等の理由により、審査を実施することが困難であると認められた場合
5. 本事業に関して、東京都及び運営事務局は、アクセラレーションプログラム等採択者の事業等に対して、一切の保証を行うものではありません。
6. アクセラレーションプログラムの取組では、本事業の特性上、参加者による発言・発表や、グループワークなど参加者同士の交流の機会を設けます。オンライン参加の場合でも、任意で顔出しやお名前の表記をお願いする場合がございますので、予めご了承ください。
7. 本プログラム参加に不適切であると東京都及び運営事務局が判断した場合には、プログラムの参加を途中で辞退していただく場合がありますのでご留意ください。
8. アクセラレーションプログラムでは、広報を目的とした撮影を実施します。撮影及び映像の使用にあたっては、ご本人の同意を得ることといたします。
※大人数でのイベント等で個人が特定できない映像については、当方の判断で使用する場合があります。また、本事業の成果は、本事業ホームページ等で公開します。
9. 本事業の参加費用は無料です(※ただし、交通費・通信費等は参加者の自己負担となります)。

7.問い合わせ先

本プログラムに関するお問い合わせは以下までお願いいたします。

TOKYO Co-cial IMPACT 運営事務局

メール：tokyo_co-cial_impact@tohmatu.co.jp

電話：03-6860-1886

受付時間：平日10時～17時（土日・祝日・年末年始を除く）